

1 教科の到達目標 (学習のねらい、身に付けたい力)

週に3時間、希望制習熟度別「少人数クラス」を実施し、「数学の基礎学力の定着とよりきめ細かな指導」、「自分から進んで学習に打ち込む生徒の育成」を目指します。一人一人の生徒の実態に応じて、より細かな指導を行うことにより、全ての生徒が毎時間の授業で「わかった」という経験を実感して、学習効果とともに学習意欲の向上を図ります。年度当初から習熟度別クラス編成をし、テスト終了後にコース変更の希望をとります。学習内容は、まず1年生の学習内容を発展させた「式の計算」を学ぶことから始まり、連立方程式、1次関数、平行と合同、三角形と四角形、確率、データの比較などを扱っていきます。学習内容も1年生よりも発展的な内容になり、自分の考えを的確に表現処理できることが大切です。この一年で中学の数学の基礎・基本を学習するので、日常的に学習したことを振り返りながら、しっかりと学習内容を身に付けることをねらいとします。また、通常の授業とは別に、レポートの作成やタブレットによる課題を通じて、既習事項の確認、計算力の充実を図っていきます。知識・技能を身に付けると共に、主体的に取り組み、自らの考えを表現する力を身に付けていくことも目標としていきます。

2 年間学習計画と単元 (題材)

学期	題材名・単元名	内 容
1 学 期	1章 式の計算 1 式の計算 2 文字式の利用	・同類項の意味と同類項をまとめる ・式の加減法、多項式と数の乗除法 ・単項式どうしの乗除法 ・乗除の混じった単項式の計算 ・文字を用いた式で、数量や数量の関係を表したり、説明したりする
	2章 連立方程式 1 連立方程式とその解き方 2 連立方程式の利用	・二元一次方程式とその解の意味 ・加減法、代入法による連立方程式の解き方 ・連立方程式を使って、問題を解決する
	3章 1次関数 1 1次関数 2 1次関数の性質と調べ方	・1次関数の意味 ・1次関数の値の変化、変化の割合の意味 ・1次関数 $y = ax + b$ のグラフの意味 ・座標から式を求める
2 学 期	3 2元1次方程式と1次関数 4 1次関数の利用	・方程式 $ax + by = c$ のグラフ ・連立方程式の解とそのグラフの交点の座標 ・事象の中から1次関数を見だし、1次関数を用いて問題を解決すること
	4章 平行と合同 1 説明のしくみ 2 平行線と角 3 合同な図形	・対頂角の性質 ・平行線と同位角の関係 ・平行線と錯角の関係 ・三角形の内角の和 ・合同な図形の性質 ・三角形の合同条件 ・証明の意味と必要性 ・仮定と結論の意味 ・合同条件を使って簡単な図形の性質を証明すること
	5章 三角形と四角形 1 三角形 2 平行四辺形	・二等辺三角形、正三角形、直角三角形の定義とその性質 ・いろいろな四角形の定義とその性質、性質の証明 平行線による等積変形を使った作図
3 学 期	6章 確率 1 確率 2 確率による説明	・同様に確からしいの意味と確率の求め方 ・簡単な場合について確率を求めること
	7章 データの比較 1 四分位範囲と箱ひげ図	・四分位数、四分位範囲の定義と用語 ・箱ひげ図の作り方と見方 ・箱ひげ図を用いたデータの傾向の調査

3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	○言葉の意味を理解している。 ○定理・公式を理解している。 ○例題の解き方を理解している。 ○定理・公式を用いて計算することができる。 ○例題の解き方をまねして計算することができる。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (ノート) ・観察 ・レポート
思考・判断・表現	○定理・公式を用いて説明することができる。 ○いろいろな解き方を考えることができる。 ○自分の考え方を発表することができる。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (ノート) ・観察 ・レポート

主体的に学習に取り組む態度	○問題を意欲的に取り組もうとしている。 ○粘り強く問題に取り組もうとしている。 ○積極的に課題解決、発表しようとしている。 ○提出物を完成した形で提出できている。	・ワークシート (ノート) ・ワーク ・観察 ・レポート ・ひまプリ
---------------	--	---

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・授業で積極的に自分の考えをみんなの前で発表していけるようにしましょう。
- ・各単元が終了する毎に、課題（レポート）を出します。しっかりと取り組み、提出をしてください。また、ワークへの取り組みを確認するので、各自でワークにしっかりと取り組んでおいてください。
- ・質問はいつでも受け付けます。積極的に質問をして疑問を解決してください。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・予習の必要はありません。復習を大切にしてください。授業が行われた日に必ず復習をしてください。授業の振り返り、自分で見つけた課題に取り組んでください。「学びの足跡」を活用してください。
- ・問題集を購入します。できるところは、どんどん進めていってください。
- ・学年ラウンジに置いてある「ひまプリ」を活用し、基礎学力の定着を図ってください。

6 定期考査・小テスト前の取組についてのアドバイス

- ・まずノート（ワークシート）を見直すこと。
- ・日々の努力が一番大切です。小さな積み重ねが大きな成果を生みます。
- ・各単元の節ごとに、小テストを行っていきます。毎時間の授業の復習をしっかりと行ってください。
- ・定期考査だけでなく小テストの結果も評価につながります。基礎的な学力を身に付けると同時に、良い評価につながるように真剣に取り組んでください。
- ・ワークを何度も繰り返し取り組み、問題をたくさん解きましょう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・計算力を身に付けることが大切です。ひまプリやワークを利用して、計算力をアップさせてください。
- ・理解できないことがあれば、すぐに質問に来てください。後回しにははいけません。その日のうちに解決するようにしましょう。
- ・多くの問題に取り組む、慣れることが必要です。